

## 平成30年度 加古川中央市民病院 地域連携会議のご案内

毎年、開催させていただいております当院の地域連携会議について下記の通り開催予定です。  
皆様方に多数ご参加いただけるよう準備いたしておりますので、宜しくご参加お待ちしております。

**開催日時** 平成30年5月31日(木) 17:00~20:00

**開催場所** 加古川プラザホテル

- 第一部** 講演会 17:00~17:35  
[演題] 神戸大学医学部附属病院と連携病院  
神戸大学医学部附属病院 院長 平田 健一 先生
- 第二部** 加古川中央市民病院紹介 17:40~18:20  
乳腺外科・TAVR・血管内治療などのご紹介
- 第三部** 意見交換会 18:30~20:00

## 平成30年度 加古川中央市民病院 患者支援センターについて

新年度を迎え当院の地域連携室を含む患者支援センターの体制が次のとおりとなりますのでご連絡いたします。

今までの入院支援室と地域連携室の2室体制から、入退院支援室・在宅医療支援室・地域連携室の3室体制へ変更致します。

- ①入退院支援室** 入院患者様の退院支援・退院調整、転院患者様の受付
- ②在宅医療支援室** 在宅療養患者様の受診相談、入院患者様の退院前・退院後訪問
- ③地域連携室** 病診予約受付、地域医療機関からの受診相談、広報活動

### 旧:患者支援センター

入院  
支援室    地域  
連携室

### 新:患者支援センター

入退院  
支援室    在宅医療  
支援室    地域  
連携室

今後もより一層皆様方とのスムーズな連携を実現するべく、新体制で業務推進致しますので宜しくお願い致します。



## 加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって  
地域住民の健康を支え、  
頼られる病院であり続けます



|               |   |
|---------------|---|
| 巻頭言 新年度をむかえて… | 2 |
| 診療ドクター紹介 ……   | 3 |
| 登録医紹介 ……      | 6 |
| 入退職医師一覧 ……    | 7 |
| 連携室ニュース ……    | 8 |

## 特集 4-5

**当院での経カテーテル的  
大動脈弁置換術(TAVR)の導入**





# 「新年度をむかえて」

加古川市民病院機構 理事長  
加古川中央市民病院 院長

おおにし よしお  
大西 祥男



平成28年7月、加古川中央市民病院が開院して以来、皆様には病院に対して温かいご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

消化器病センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センターの5大センターを中心に30診療科各々において専門医療を実践し、その総合力で救急医療に取り組んできました。開院前後に新しく開設した診療科も順調に実績を積み、小児循環器領域の診療も軌道に乗っています。また、脳神経外科医師の増員によりカテーテルによる脳血管内治療も始まりました。皆様には、多くの症例をご紹介いただいております事に改めて厚くお礼申し上げます。

平成30年4月からは乳腺の専門医師を3名迎え31番目の診療科として乳腺外科を開設しました。また、2名の常勤病理医を迎えて「がん診療連携拠点病院」としての更なる充実を図ってまいります。構造的な心疾患や成人先天性心疾患の診断と治療、消化器外科領域でのロボット手術、非がん患者の緩和ケアや肥満患者さんへのチーム医療等も展開していきたいと考えています。

今年度は、診療報酬・介護報酬同時改定の影響が危惧される一方、地域医療構想並びに地域包括ケアシステムの構築に向けて地域の医療機関や介護施設との連携強化が急務です。患者支援センターを地域連携室、入院退院支援室、在宅医療支援室に組織改編しました。入院前より退院を見据えた早期介入や退院後の一定期間の在宅訪問などを通して医療と介護との連携を強化し急性期病院としての役割をしっかりと果していきたいと考えています。

医療を取り巻く目まぐるしい環境の変化に即応しながら診療機能の一層の充実を図り、地域住民の健康を支えるべく、職員一丸となって取り組んでまいります。宜しく、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

## 診療ドクター紹介

今年度より患者様をよりスムーズにご紹介いただける様に各科の医師の紹介コーナーを設けました。今月は下記の2例です。

### 消化器内科



**専門分野** 肝胆道疾患の診断と治療  
膵胆道癌、胆管結石、急性胆管炎、急性膵炎、慢性膵炎、などの症例をご紹介します。

膵胆道疾患の診断には、様々な画像診断装置および内視鏡機器を駆使する必要がありますが、当院ではこれらのすべてを迅速に施行できる環境にあります。治療においても、院内各科との協力の上で最善の治療を提供できる体制を構築しています。最近では、超音波内視鏡誘導下の胆膵処置なども導入して地域で完結できる高度医療の提供に努めています。



**専門分野** 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）

東播磨地域の炎症性腸疾患患者数の増加は著しく、当院の通院患者数は200名を超えました。益々の診療ニーズにお応えすべく、常に最新の治療を提供できる体制を確保しています。診療では、個々の患者様のライフスタイルに十分に配慮した治療選択を心がけています。



**専門分野** 消化器全般

上下部消化管および肝胆膵領域における疾患群について、救急医療から高度専門医療まで普遍的に対応できる消化器内科医師を目標としています。各種の消化器内視鏡検査や様々な画像診断法を用いて病状を速やかに把握できるように努めています。症例の種類を問わずにご紹介くださるよう宜しくお願い申し上げます。

### 循環器内科



**専門分野** 虚血性心疾患、肺高血圧症

狭心症、心筋梗塞といった虚血性心疾患を中心に診療に取り組んでおります。心臓血管外科、理学療法士などとハートチームを形成し、患者様にとってよりよい治療を選択し実践することを心がけております。また肺高血圧症という息切れを症状とする疾患に関しても呼吸器内科、膠原病内科と協力し診療にあたっております。循環器疾患は急を要することが多く、24時間365日の対応を行っております。



**専門分野** 不整脈。徐脈、頻脈を問わず、お困りの方がおられましたらお気軽にご紹介ください。

マグネティックナビゲーションシステムによるカテーテル遠隔操作により、従来はアブレーション困難だった症例にも効果を挙げています。デバイス治療では新たにリードレスペースメーカ植え込みも始めました。複数の不整脈専門医やスタッフが協力して最適な医療を提供できるように心掛けていますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



**専門分野** 末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症など）、静脈血栓塞栓症

2011年より末梢血管障害を中心に診療に取り組んでいます。当院の特色は、循環器内科、心臓血管外科、形成外科、糖尿病内科、腎臓内科で情報を共有し、協力して診療にあたっていることです。毎週火曜日に複数診療科で病棟回診を行い、最適な治療方針を決定しています。また、肺塞栓症、深部静脈血栓症においても薬剤治療に加えて、カテーテル治療を行っています。臨床研究、多施設研究などにも積極的に取り組み、日常臨床にフィードバックして、診療レベルの向上に取り組んでいます。





# TAVR (経カテーテル的大動脈弁置換術) がはじまります。

## 当院での経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVR) の導入

人口の高齢化を背景に大動脈弁狭窄症 (aortic stenosis : AS) 患者は急増しています。ASは「弁膜症」のうちもっとも遭遇することの多い疾患ですが重症化すると症状出現後75%の患者が3年以内に死亡する進行性かつ予後不良の疾患であり、これまでの一般的な治療は大動脈弁置換術 (aortic valve replacement : AVR) でした。日本におけるAVRの手術成績は30日以内死亡2.5%と良好ですが、手術には胸骨縦切開・人工心肺を用いた心停止操作が必要です。そのため高齢、重篤な合併症を理由に重症大動脈弁狭窄症例全体の3～6割が未治療のまま経過観察されていると言われています。このような状況の中で登場したのが経カテーテル的大動脈弁置換術 (transcatheter aortic valve replacement : TAVR) であり、カテーテルを用いて大動脈弁移植術を行います。開心術と違い単経路部や左前胸部の小切開あるいは経皮的アプローチで施術可能であり、大きな開胸を行いません。また人工心肺は用いず、心停止を要さない点で低侵襲な治療法とされています。TAVRは2002年に世界初の臨床応用がなされ、日本では2013年より保険適応となりました。実施施設は120を超えTAVRの実施件数は8000件あまりとなっています。施行にあたっては学会の定める認定事項を満たしている施設に限られています。定められた開心術件数やカテーテル件数をクリアし、心臓血管外科専門医、循環器専門医が在籍していることなどが条件となっています。「低侵襲」を謳った術式ではありますが、ASの基本治療は開心術であり、それが困難な高齢者や合併疾患を有するいわゆる「ハイリスク症例」がTAVRの対象となります。そのため循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医、放射線科医、手術室看護師、放射線技師、臨床工学士などからなるハートチームを結成し、様々な観点から症例の選択やTAVRのシミュレーションを繰り返してきました。2018年1月にTAVRの施設認定を取得しこの治療を加古川中央市民病院で開始することとなりました。患者の紹介につきましては近隣の病院、クリニックの先生方の多大なるご協力が必要不可欠です。紹介にあたってはできるだけ先生方のご負担を軽減するように努めてまいります。「心雑音」の聴取される患者さんがおられましたら是非当院に紹介いただきますようお願い申し上げます。当院で精密検査を行い診断し治療方針を検討させていただきます。ご紹介いただいた場合には受診時にできる限り検査を行い、患者さんの負担を軽減するようにいたします。

TAVR導入が開心術をためらっていた高齢AS患者さんの光明となることがハートチーム一同の願いです。

心臓血管センター長(兼)手術部副部長  
(兼)心臓血管外科 科部長  
脇山 英丘

## TAVR ～経カテーテル的大動脈弁置換術～

### 大動脈弁狭窄症の新しい治療です。

大動脈弁狭窄症とは、心臓の大動脈弁の開きが悪くなり、血液の流れが妨げられる病気のことです。重症になると、突然死に至ることもあります。

大動脈弁狭窄症は、重症化すると外科的な手術が必要になる為、体に負担が大きくなり、高齢者の方や他の疾患をお持ちの患者さんには治療がむずかしくなっていました。そこで当院では、

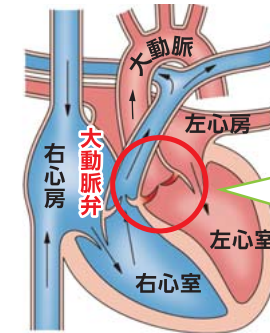
からだに負担が少ない治療である **TAVR 治療** を始めます。



心臓血管センター 副センター長  
(兼)循環器内科 主任科部長  
角谷 誠



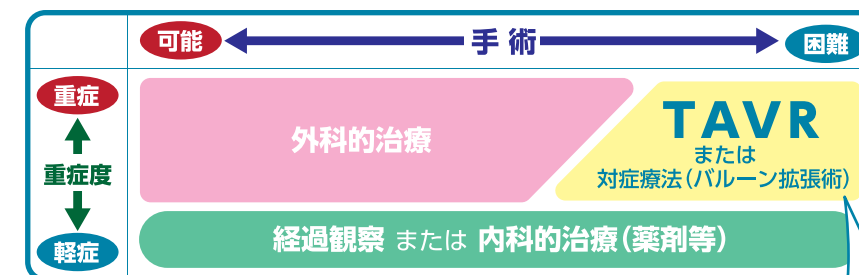
循環器内科 医長  
寺尾 侑也



### からだにやさしい **TAVR治療** の **最大の特徴**

- ①人工心肺を用いない(心臓をとめない)
- ②手術で胸を大きく切らなくてよい
- ③手術が早く終わる
- ④手術のときより社会復帰が早くなる

### 大動脈弁狭窄症の治療について

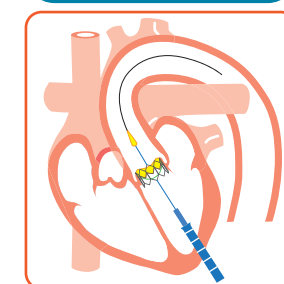


#### TAVR治療の対象となる方

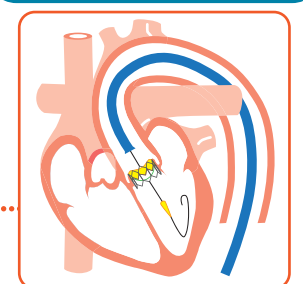
- ・外科的な手術が困難な高齢者の方
  - ・他の疾患をお持ちの方
- まずはかかりつけ医にご相談ください

#### 治療方法が2つあります

##### ① 肋骨の間から



##### ② 太ももの付け根から



カテーテルという道具を使用し、人工弁を留置します。診療実施の判断には、医師の診断が必要です。



# 登録医紹介

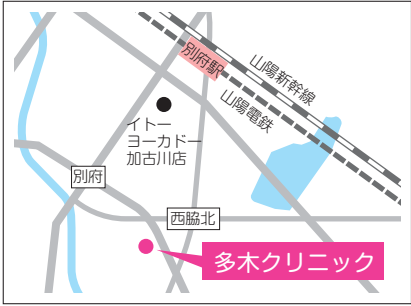
当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。

## 多木クリニック

診療科：内科／胃腸科／小児科／心療内科／アレルギー科／リハビリテーション科



理事長：多木 純子 先生  
院長：多木 秀雄 先生



平成3年7月より、東加古川南方面のイトーヨーカドー南で内科(多木純子)小児科(多木秀雄)を開業しました。  
内科一般、生活習慣病の指導、特に糖尿病療養指導士・管理栄養士・臨床心理士等のチーム医療による療養指導、認知行動療法を活用した取り組みを行っています。糖尿病専門医としてのみならず、高齢化に伴う多疾患の患者様を総合的に内科医として対応させて頂いております。  
小児科では、小児科一般、アレルギー、子どもの心相談、予約制の言語聴覚療法を行っています。  
介護保険が始まった平成12年4月から介護保険事業所(居宅介護支援・通所リハビリテーション)を開設し、訪問看護ステーションと連携し終末期在宅医療、認知症に対応しています。  
日頃は新生児から高齢患者様まで、加古川中央市民病院の先生方に大変お世話になり有難ございます。更に、病診連携を通じて地域医療に貢献できればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

所在地：加古川市別府町西脇2丁目48  
駐車場台数：25台  
**TEL.079-435-0555**

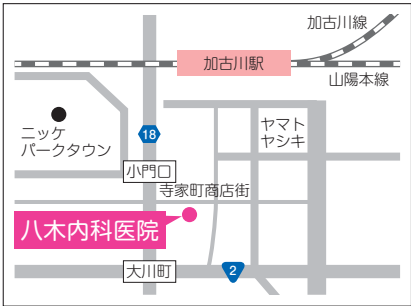
| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 午後 16:00～18:45 | ○ | ○ | ○ | － | ○ | － | － |

## 八木内科医院

診療科：内科／循環器内科



院長：八木 陽介 先生



こんにちは。八木陽介と申します。寺家町商店街の中で開業しています。この地では祖父の代から医師をしており、平成29年に父から院長を引き継ぎました。  
内科全般と循環器内科の診療にあたっており、心臓、肺に関しては、基本的な検査機器を揃えています。  
医師としての姿勢  
・話しやすい医師であること  
・誠実な医師であること  
医療機関を訪れる方は、不安、心配、つらさ、痛さを抱えていると思います。そういう悩みを気軽に話してもらえる医者になりたいと思っています。医院の上に住んでおり、身近な存在であれたらと思います。  
これからは、自宅で一生を過ごしたいと思ったり、往診、在宅医療を望まれる方も増えると思います。そういう要望にも応えていきたいと考えています。  
中央市民病院の先生方には、いつも断られることもなく無理を聞いて頂き感謝し、また心強く思っています。移転された後は、当院より歩いて10分の距離で以前にも増して紹介希望の方が増えたように感じます。今後とも変わらぬご指導の程宜しくお願いします。

所在地：加古川市加古川町寺家町369  
駐車場台数：6台  
**TEL.079-422-2246**

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:45～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 午後 16:00～19:00 | ○ | ○ | ○ | － | ○ | － | － |

## 入退職医師一覧

### 4月入職医師

|            |        |       |        |      |        |
|------------|--------|-------|--------|------|--------|
| 消化器内科      | 大西 孝典  | 小児科   | 松本 朋子  | 乳腺外科 | 荻野 充利  |
| 消化器内科      | 入江 洋介  | 小児科   | 増田 知佳  | 乳腺外科 | 佐古田 洋子 |
| 消化器内科      | 横谷 勇佑  | 小児科   | 前田 晶子  | 乳腺外科 | 稲尾 瞳子  |
| 循環器内科      | 金子 明弘  | 外科    | 沢 秀博   | 診療部  | 河合 嘉一  |
| 循環器内科      | 米田 幸世  | 外科    | 横山 邦雄  | 診療部  | 菅野 睦   |
| 循環器内科      | 辻本 誠長  | 外科    | 三村 和哉  | 診療部  | 喜多 ともみ |
| 呼吸器内科      | 徳永 俊太郎 | 呼吸器外科 | 松本 高典  | 診療部  | 苔原 つばさ |
| 呼吸器内科      | 石田 貢一  | 整形外科  | 佐竹 徹   | 診療部  | 坂元 美季  |
| 呼吸器内科      | 山本 賢   | 整形外科  | 鈴木 孝洋  | 診療部  | 武田 侑己  |
| 糖尿病・代謝内科   | 大井 佑夏  | 整形外科  | 前田 琢磨  | 診療部  | 東 敬信   |
| リウマチ・膠原病内科 | 中川 大章  | 形成外科  | 市川 恵梨  | 診療部  | 藤澤 俊介  |
| リウマチ・膠原病内科 | 前田 拓郎  | 眼科    | 曾谷 堯之  | 診療部  | 前田 敦成  |
| 腎臓内科       | 能瀬 勇馬  | 耳鼻咽喉科 | 木村 哲平  | 診療部  | 増田 祐   |
| 腎臓内科       | 岡本 英久  | 産婦人科  | 武田 和哉  | 診療部  | 松本 梨佐  |
| 腎臓内科       | 錦 恵那   | 産婦人科  | 黒島 瑞穂  | 診療部  | 大多尾 早紀 |
| 腎臓内科       | 藤川 千恵  | 病理診断科 | 今井 幸弘  | 診療部  | 前田 祐希  |
| 神経内科       | 永田 格也  | 病理診断科 | 北村 悟   | 診療部  | 伊藤 立人  |
| 精神神経科      | 金 世賢   | 放射線科  | 林 和宏   | 診療部  | 峯 凪り   |
| 小児科        | 山名 啓司  | 麻酔科   | 吉田 春佳  | 診療部  | 宮沢 嘉英  |
| 小児科        | 松本 和徳  | 救急科   | 中田 一弥  |      |        |
| 小児科        | 増田 祥行  | 救急科   | 大河原 悠介 |      |        |

### 3月末退職医師

|         |         |       |        |        |       |
|---------|---------|-------|--------|--------|-------|
| 消化器内科   | 久禮 泉    | 小児科   | 大西 徳子  | 歯科口腔外科 | 中井 良知 |
| 循環器内科   | 清水 宏紀   | 小児科   | 中谷 尚子  | 診療部    | 小川 令  |
| 循環器内科   | 矢富 敦亮   | 小児科   | 西田 浩輔  | 診療部    | 隈元 宣行 |
| 循環器内科   | 山名 祥太   | 外科    | 原田 直樹  | 診療部    | 戸邊 泰将 |
| 呼吸器内科   | 植田 史朗   | 外科    | 福井 慶介  | 診療部    | 新谷 敏夫 |
| 腫瘍・血液内科 | 能勢 拓    | 整形外科  | 齋藤 寧彦  | 診療部    | 上田 沙紀 |
| 腎臓内科    | 山谷 哲史   | 整形外科  | 工藤 健史  | 診療部    | 河内 啓貴 |
| 腎臓内科    | 小坂 恭子   | 形成外科  | 吉本 奈央  | 診療部    | 瀧本 将  |
| 神経内科    | 古賀 明日香  | 眼科    | 佐々木 信之 | 診療部    | 林 実佳  |
| 精神神経科   | 加賀野井 秀和 | 産婦人科  | 大原 雅代  | 診療部    | 鶴野 雄大 |
| 小児科     | 佐々木 香織  | 病理診断科 | 坂井田 紀子 |        |       |
| 小児科     | 永瀬 静香   | 放射線科  | 三田 裕樹  |        |       |